

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概要
(著書(欧文)) 1. 2. 3. 4.				
(著書(和文)) 1. 「英語が苦手な学生に寄り添う 大学授業お悩みQ&A 語彙習得に近道はなし」	単著 (ただしJACET SIG授業学研究会の一員として)	2022年8月	『英語教育2022年9月号』. 大修館	大学教員に向け、英語を不得意とする学生の語彙指導の工夫を述べたもの。JACET SIGの連載のうちの一本。
(学術論文(欧文)) 1. Reading and second language vocabulary acquisition (査読付き) 2. Japanese EFL learners' acquisition of parts of speech (査読付き)	単著 単著	2010年3月 2014年3月	東京女子大学 (修士論文) 東京学芸大学 (博士論文)	リーディングとそれと関係の深い語彙の深さについて、日本人大学生を対象に研究したものである。頻度による習得に特に注目した。学位論文につき。(リポジトリのみ。未発行) 日本人学生及び生徒の主要四品詞の習得状況を比較調査したもの。意味、形態、統語情報の観点から比較調査した。テストの開発も同時に行った。学位論文。(リポジトリのみ。未発行)
(学術論文(和文)) 1.				
(紀要論文) 1. The Relationship between Vocabulary Size and Grammatical Ability from a Numerical Point of View (査読付き) 2. 品詞の理解状況 - 日本人大学生に見る - (査読付き) 3. 英語を不得意とする大学生の現状 語彙サイズとReadingに注目して (査読付き)	単著 単著 単著	2012年3月 2013年11月 2016年12月	学校教育学研究論集第25号 外国語教育学会第16号 外国語教育学会第19号	望月テストと呼ばれる語彙サイズを測定するテストにに基づく、語彙サイズとグラマー能力の関係を経験則でなく、数値に基づいて調査したものである。(p. 55-67) 日本人大学生の品詞の理解状況を、名詞、動詞、形容詞、副詞の主要4品詞に関してそれぞれ分析したものである。(p. 105-120) 英語が不得意な学生の語彙数の把握をし、語彙数と授業の中心となるReadingとの関係はどのようになっているかを調査したものである。(p. 101-118)

4. 英語を不得意とする学習者のReading力とListening力の関係 (査読付き)	単著	2019年3月	帝京科学大学教育・教職研究4巻2号	ListeningとReadingの習得度合いの不均衡さを持った学生がいることから、両者の関係を調査したものである。査読あり。(p. 11-19)
(辞書・翻訳書等)				
1.				
(報告書・会報等)				
1.				
(国際学会発表)				
1.				
(国内学会発表)				
1. リーディングと第二言語における語彙の習得	単独	2011年2月	ICET第30回合同発表会 (大妻女子大学)	日本人大学生のリーディング授業内における語彙の習得を調査したもので、修士論文を再分析したものである。
2. 語彙と文法の関係を見る	単独	2011年8月	関東甲信越英語教育学会第35回神奈川研究大会 (専修大学)	望月テストに基づく語彙サイズと、グラマー能力の関係性を数値的に調査したものを発表したものである
3. 品詞の習得状況 - 大学生の習得状況を見る -	単独	2012年8月	関東甲信越英語教育学会第36回群馬研究大会 (共愛学園前橋国際大学)	大学生の主要4品詞 (名詞・動詞・形容詞・副詞) の習得状況に関してテストを開発し、調査したものである。
4. 品詞の理解状況	単独	2012年11月	外国語教育学会第16回研究報告大会 (東京学外大学)	日本人生徒・学生の主要4品詞 (名詞・動詞・形容詞・副詞) の習得状況に関してテストを開発し、調査したものである。
5. 日本人英語学習者の品詞理解の現状を知る	単独	2013年6月	日英言語文化学会 (AJELC) 第9回年次大会 (明治大学)	日本人生徒・学生の主要4品詞の習得状況に関してテストを開発し、調査したものである。2012年に行ったテストを修正して臨んだ。
6. 品詞の理解状況を調査する - 日本人の高校生において -	単独	2013年8月	関東甲信越英語教育学会第37回長野研究大会 (松本歯科大学)	大学生や社会人は除き、日本人高校生のみ注目し、主要4品詞の習得状況に関してテストを開発し、調査したものである。
7. 日本人高校生の品詞習得状態 - 名詞に注目して -	単独	2014年8月	全国英語教育学会第40回徳島研究大会 (徳島大学)	博士論文で得られた名詞習得が不得手であるという状況をより深く知るために、高校生に注目して詳しく分析したものである。
8. 日本人高校生の品詞習得	単独	2014年11月	外国語教育学会第17回研究報告大会 (東京外国語大学)	博士論文で得られた日本人高校生の品詞習得において、どのような特徴があるかをまとめた。
9. 英語を不得意とする大学生の語彙と読解力の関係	単独	2015年11月	外国語教育学会第18回研究報告大会 (東京外国語大学)	英語を不得意とする大学生はどの程度の語彙数を保持しているのか。彼らの持つ読解力と合わせ、調査を行ったものである。

10. 英語の名詞の習得	単独	2016年4月	日英言語文化学会 第55回例会（明治大学）	日本人英語学習者が持つ名詞の習得について調査したもの。博士論文の継続研究である。
11. リメディアル大学英语教科書分析 -傾向と今後の課題-	共同	2016年8月	全国英語教育学会第42回埼玉研究大会（独協大学）	リメディアル用の大学教科書とはどのような特徴をもつのか、に関して分析を行ったものである。
12. 英語を不得意とする大学生の品詞の習得	単独	2016年11月	外国語教育学会第20回研究報告大会（東京外国語大学）	英語が不得意な大学生を対象に、日本語及び英語の品詞の習得テストを実施し、それについて分析したものである。
13. 教員と学生が大学英语授業と教科書に求めるものは何か -英語を不得意とする学生対象クラスでのニーズ分析-□	共同	2017年8月	全国英語教育学会第43回島根研究大会（島根大学）	大学で使用する教科書に対して、大学生が求めているものは何なのか、量、価格、内容、色彩などに関して調査を行い分析したものである。
14. 英語学習に困難がある学習者の実態 - ListeningとReadingのバランスに注目して -	単独	2018年8月	全国英語教育学会第44回京都研究大会（龍谷大学）	ListeningとReadingの習得度合いの不均衡さを持った学生がいることから、両者の関係を調査分析し、まとめたものである。
15. 大学生の語彙と読解力の関係を継続的に見る	単独	2018年12月	外国語教育学会第22回研究報告大会（東京外国語大学）	一年を通じ、語彙とreadingの関係を調査したものである。また、この関係は英語力が上がると比例して上がるかに関して調査を行った。
16. 大学生が持つReadingと語彙の関係	単独	2019年4月	日英言語文化学会第70回例会（順天堂大学）	継続的に行っているものであり、語彙数とReadingの関係について調査したものである。
17. 英語技能の習得のバランス -listeningとreadingにおいて-	単独	2019年8月	関東甲信越英語教育学会 第43回 神奈川研究大会（横浜国立大学）	ListeningとReadingの習得度合いの不均衡さに関して2018年に行った調査の第二弾である。
18. With/Afterコロナでの大学英语授業運営における教員の悩みをどう捉えていくか On Studying Effective Classroom Management Techniques for College Students during/after the COVID-19	共同	2021年8月	JACET 60th Anniversary Commemoration Week（ZOOMによるオンライン開催）	多様化していく状況や生徒に関連して起こる諸問題に、教師はどのように対処していけばいいのかを、Reading, Writing, Grammar, Vocabulary, Classroom Managementなど、多角的に考察したものである。
19. 質と量は両立するの か	単独	2021年12月	日英言語文化学会第78回定例研究会（オンライン開催）	英語が苦手な学習者の語彙数把握したうえで、単語のどの側面を習得しているのかを調査したもの。パイロットスタディ。
20. Developmental Education Kanto Chapter SIG	共同	2022年8月	The 61st JACET International Convention（Online, 2022）	ここ数年行ってきた英語を不得意とする学生に関する調査の報告。

21. 視覚情報は学生の語彙習得の手助けになるのか（自由研究発表・実践報告）	単独	2022年12月	第45回群馬研究大会（オンライン）	イラストや写真といったニーズの高い視覚情報が、学生の語彙習得の手助けとなるかを検証したもの。
(演奏会・展覧会等)				
1.				
2.				
3.				
4.				
(招待講演・基調講演)				
1.				
2.				
3.				
4.				
(受賞(学術賞等))				
1.				
2.				
3.				
4.				

研 究 活 動 項 目

助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等の別	種 類	採択年度	交付・受入元	交付・受入額	概 要
(科学研究費採択)						
1.						
2.						
3.						
4.						
(競争的研究助成費獲得(科研費除く))						
1.						
2.						
3.						
4.						
(共同研究・受託研究受入れ)						
1.						
2.						
3.						
4.						
(奨学・指定寄付金受入れ)						
1.						
2.						
3.						
4.						

(学内課題研究(共同研究)) 1. 2. 3. 4.						
(学内課題研究(各個研究)) 1. 2. 3. 4.						
(知的財産(特許・実用新案等)) 1. 2. 3. 4.						